

本年度の学校評価

本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の特性に応じたきめ細やかな指導の推進 基本的な生活習慣及び学習習慣の確立 生徒の自主的活動を通しての活力ある学校づくりの推進 		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
PTA活動 広報活動 (総務部)	PTA活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> PTA活動の充実と活性化に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 昨年PTA活動がほとんどできなかったため、活動の引継ぎが滞ることが無いように配慮する。
	広報誌の充実	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事以外にも、学年行事、特徴のある行事の写真を撮って広報誌に掲載する。 	<ul style="list-style-type: none"> 全校集会、学年集会、講演等の写真を撮ってパソコンに日付と内容を明記し整理する。
学習指導 (教務部)	評価方法の工夫と実践	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度の評価について各教科で再検討し、生徒の学力をより正確に評価できる方法を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学期ごとに振り返りながら次の学期のより良い評価につなげる。
	適性な考査問題の作成	<ul style="list-style-type: none"> 各設問において、評価したい生徒の能力を明確にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 評価方法と連携した作問を心掛ける。
生徒指導 (生徒指導部)	授業規律の向上	<ul style="list-style-type: none"> 携帯電話、スマートフォンの使用マナーを徹底させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業中は電源を切って鞆にしまうよう全職員で統一した指導をする。
	交通安全意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> 「0の日」交通安全運動の実施 各学期始めの登校指導 	<ul style="list-style-type: none"> 自転車の交通マナー、交通ルールについて繰り返し指導をしていく。
	公共心の育成	<ul style="list-style-type: none"> 全校集会等で、集団生活においてルールを守ること、身だしなみを整えることの必要性を伝える。 遅刻防止の呼びかけをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 公共の場での振舞いについて認識させ、私的な行動による他人への迷惑や施設、設備の破損につながらないよう指導する。
特別活動 (特活部)	行事内容の充実と整備	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事等で昨年度の問題点を改善させよりよい行事に繋げる。 	<ul style="list-style-type: none"> 分掌会、生徒会、生徒議会での審議を充実させて審議する。
	生徒会活動の充実、及び自主的運営の促進	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会執行部を定期的に集め、学校行事を組織的、主体的に運営する方策について議論させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 執行部、生徒議会、各ホームルームの連絡を密に取らせる。
	部活動の活性化と安全管理	<ul style="list-style-type: none"> 活動時間や活動日数等を適切な量を設定し、充実した活動にさせる。 コロナ禍において感染対策を意識させていく活動していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 安全に留意し、充実した活動となるように指導する。 部顧問会やキャプテン会等で周知していく。各HRでも担任からも積極的にアナウンスしてもらう。
進路指導 (進路指導部)	講演会や説明会による進路情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> 講演会や説明会の機会を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> 個々の進路に応じた説明会を準備する。 保護者会中に、大学説明会を行い、保護者にも、大学について聞く機会を準備する。
	国公立大学進学者を増やす	<ul style="list-style-type: none"> 国公立の良さを伝え、国公立大への挑戦を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> 国公立対策講座を開講し、最後まで、共に頑張る生徒の絆づくりや、途中で投げ出さないようサポートする。
	最後まで、がんばらせる指導	<ul style="list-style-type: none"> 昨年の後期合格者の例を授業、補習、LT等を通じて伝え、諦めさせない。 	<ul style="list-style-type: none"> 最後まで努力したメリットを伝えつつ、しっかりした知識の定着を図る。
保健指導 (保健部)	安心で安全な環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> 感染症対策に努め、生徒一人一人の健康意識を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 換気や消毒作業が行いやすいように整備する。
	校内美化、環境整備	<ul style="list-style-type: none"> 清掃活動の充実とゴミの減量化を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 清掃用具を整え掃除に取り組みやすくする。
	委員会活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 保健、美化、防災委員の活性化を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒ができることは積極的に任せていく。
教育相談・特別支援 (保健部)	「心のアンケート」の実施	<ul style="list-style-type: none"> 本校の実態により即したアンケート内容へと整備していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度の改訂を踏まえ、より良い内容を模索していく。
	相談委員会の開催	<ul style="list-style-type: none"> 不登校傾向や悩みを抱えている生徒について、情報を共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> SCやSSWの知見も活用できるよう、守秘とともに情報共有を目指す。

項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
図書館活動 (図書部)	<ul style="list-style-type: none"> 図書館の常時開館を目指し、図書館利用の促進に努める 図書館システムの継承 	<ul style="list-style-type: none"> 図書部の職員で分担をして、交代で常駐できるようにする。 整備が整ってきた図書館システムについて、図書部の職員が理解し、操作できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 管理できるものが不在の場合は閉館とし、無人の状況を作らない。 一人の職員に知識が偏らないように共有する。
学校いじめ防止基本方針に基づく取組	<ul style="list-style-type: none"> いじめの未然防止に係る取組の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 全校集会や学年集会、ホームルーム活動において、いじめ防止をテーマとした活動を行い、生徒がいじめ問題を主体的に考える機会を設ける。 いじめの情報収集、事案対処に係る「いじめ・不登校対策委員会」の役割を具体化し、教職員間で共有するとともに、生徒や保護者にも周知する。 いじめアンケートの実施方法や、その後の対処のあり方について検証し、いじめの早期発見と適切な対処につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒がいじめ問題について主体的に考え、自らに関わる問題と捉えられるようにする。 「いじめ・不登校対策委員会」の役割を生徒や保護者に周知することで、生徒が安心して学校生活を送ることができるような環境作りを行う。 生徒が記入しやすいアンケートの様式や実施方法、その後の組織的な対応の在り方について検討する。
勤務時間の適正な管理及び長時間労働による健康障害防止	<ul style="list-style-type: none"> 在校時間等の状況記録の活用 年次休暇の使用促進 	<ul style="list-style-type: none"> 在校時間等の状況が月に80時間を超える職員がいなくなるように、積極的に職員に声掛けをする。 在校時間等の状況記録結果を活用し、業務適正化を図るとともに教職員の確実・適切なメンタルヘルスの保持に努める。 教職員の年次休暇の計画的な使用を促進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 1か月間の時間外労働が80時間を越える教職員に対して、そのつど面接指導の希望の有無について確認を行い、教職員の健康障害防止に努める。 学校閉庁日や長期休業中を活用し、年次休暇の使用を促進する。
学年指導	<ul style="list-style-type: none"> (第1学年) 集団行動に必要な規範意識を定着させる。 個に応じた指導 学校満足度を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 集団生活において、自分本位な行動が他に与える影響を考えさせ、集団規律の重要性を理解させ、これを構築させる。 学力不安や配慮が必要な生徒が少なくない。一律の指導が難しい場面は、個に応じて指導する。学年の教職員や保護者との連携をとる。 集団規律を重んじる中、個性に気づき、新たな自分の発見、人間関係の構築を支える。学校生活に前向きに取り組める環境を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 個に応じた指導とのバランスを十分に考慮する。 集団規律とのバランスを十分に考慮する。 瀬戸西高校の生徒である自覚、帰属意識を促す。
	<ul style="list-style-type: none"> (第2学年) 学習習慣を定着させ、来年度の受験に向けて基礎学力の定着を図る。 自己の適性や興味関心を探り、進路意識の向上を促す。 中心学年としての自覚を促し、集団としての規範の遵守と、主体性の涵養を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 進路実現に必要な学力向上を達成するために、日々の学習の大切さと学習方法を具体的に指導し、学習習慣を定着させる。 総合的な探究の時間やLTなどで進路について考える機会を与え、志望校選択や志望理由について深く考えさせる。 学校生活をより有意義なものとするため、学習や学校行事、修学旅行などで主体的に活動できるように指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> 事前に家庭学習の計画を立てさせ、学習時間や取り組み状況について振り返る機会を持たせる。 オープンキャンパスで注視すべき点を説明し、希望する学校と比較検討する力を身に付けさせ、進路について具体的に考えさせる。 生徒間の関わり方に目を向け、他者に思い遣りのある言動をさせ、仲間や後輩を大切にすることを育む。
	<ul style="list-style-type: none"> (第3学年) 最高学年としての規範意識を持たせ、集団の一員として主体的に活動する姿勢を育てる。 自らの成長を意識させ、向上心を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 身だしなみや教室の環境整備など全員が快適な学校生活を送るために、生徒観察に努め、思いやりの心を育て、ルール・マナーを守らせる指導に努める。 また、日々の学校生活をより有意義なものとするため、学習や学校行事などで主体的に活動できるようにするための支援に努める。 進路実現に向けて、日々の成果を記録する習慣をつけさせるとともに、自らの成長を実感できるような指導に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業開始時や集会時に改めて身だしなみを見直させるなど、様々な機会に生徒に身だしなみを意識させるよう促す。 主体的な家庭学習を促すために、授業において、予習・復習の重要性やその具体的な方法を提示していくようにする。 総合的な学習の時間やLTなどで主体的に進路について考えたり、調べたりする機会を設けられるようにする。
学校関係者評価を実施する主な評価項目		<ul style="list-style-type: none"> きめ細かな学習指導の徹底による基礎学力の向上 ルール・マナーの徹底による授業規律の向上 個々の生徒希望に即した進路指導による進路意識の高揚 防災知識の普及への積極的な取り組み 進路について調べ、考え、行動する主体的学習への取り組み 個別指導により進路希望実現を支援する取り組み アンケートや個人面談等による、いじめの防止・早期対応への取り組み 勤務時間の適正な管理及び長時間労働による健康障害防止への取り組み 	